

# 慈明院寺報十月号

## 白い象

彼岸も過ぎて秋らしくなつてきた。十一月、慈明院の開山記念日である十一月三日に、象頭の神仏・聖天様の法会を一年の締めくくりとして行う。象は仏教における「力の象徴」とされる動物で、様々な法話がある。

時々白い象が発見される事がある。これはアルビノと呼ばれる現象で先天的にメラニン色素が欠乏しているものである。仏教において力の象徴である象は、仏画などにも画かれる。とりわけ普賢菩薩は、白い象に乗るお姿で画かれている事が多い。

ところが英語で「white elephant」（ホワイトエレphant・白い象）といえれば、「厄介物・持て余し物」という意味である。なぜそのような意味になるのか？

インドやスリランカ、タイ等において象は神聖な動物である。特に白い象は「神の使い」として、王様に献上され宮殿で大事に飼育される。この白象を王様が家来に意地悪で下賜するのである。神の使いである白象は、普通の象のように、移動手段や働くためとして使えない。家来は使い勝手のない白象を泣く泣く飼育する訳である。かくて白い象が「厄介物」「持て余し物」となるのである。

私達は見栄や欲望から、白い象をもらつてはいなかろうか？本当に自分に「必要なもの」と「欲しいもの」は違う。このふたつを区別する事によつて賢くなれるよと、白象に乗つた普賢菩薩はおっしゃるかもしれない。

住職 合掌

## 塔婆供養成満の御礼

去る九月二十三日（秋分の日）、当院本堂におきまして塔婆供養をお勤めさせて頂きました。

塔婆供養の申し込みを頂きました皆様に篤く御礼申し上げます。またコロナ対策のマスク着用で参拝下さいました皆様、誠に有難うございました。

ご供養させて頂いた塔婆は、納骨堂横の『供養堂』で来年のお施餓鬼まで約一年間、安置奉納致します。どうぞ来寺の際はお参り下さいませ。

合掌

## 聖天様 斷ち物祈願法会のご案内

来る令和四年十一月三日（木曜日）文化の日

午前十一時より



『聖天堂』（丸い円形の御堂）に鎮座している大聖歎喜天（通称・聖天様）をお祀りする法会です。住職が風呂敷護摩というご祈願を行い、今年最後の厄祓い、慈明院の締めくくりの法会です。どなたでもご参拝できます。どうぞお参り下さいませ。（昼食と聖天様の好物・大根をお接待致します）



慈明院（〒八一ー一ー三一 福岡市早良区大字西二三四一ー二〇）  
TEL（〇九二）八〇四一四五七〇 FAX（〇九二）八〇四一四六〇五  
住職・吉住大慈 携帯電話〇九〇一（五二八一）一七四九四